

第5回新潟市区のあり方検討委員会 議事概要

- 日 時：平成28年3月30日（水）15：00～15：45
- 会 場：新潟市役所 本館6階 講堂
- 出席者
委 員：碓井光明座長，長谷川雪子副座長，伊藤正次委員，大橋誠五委員，奥寺洋子委員，渡邊信子委員，渡邊忠芳委員，足立定夫委員，竹内一義委員，新藤幸生委員，小田信雄委員，真嶋民雄委員，如澤寛委員，青木千代子委員，下坂忠彦委員
事務局：加藤理事，高橋地域・魅力創造部長，三浦地域・魅力創造部次長
- 傍聴者：5名（うち報道3名）

【概要】

- 開会（理事あいさつ）

加藤理事

- みなさんこんにちは。本日は年度末の押し迫ったところ，本当にお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。この委員会も昨年7月に第1回を開催して，その後，予定の4回を1回増やし，今日が最後の第5回である。これまで大変熱心に議論いただいているが，本日もまた引き続きよろしく願います。
- 本日は，前回皆様に報告書の素案を提示させていただいた。その後，座長と相談させていただきながら，事務局で最終的な調整，全体の構成などについて修正を重ね，また，皆様の意見についても，可能な限り反映するよう整理させていただいた。皆様から出させていただいた様々な意見は，論点ごとにわかりやすく整理して記載し，今後の区のあり方を巡る議論の土台となるようにまとめている。
- 本日は最後の委員会となるので，委員会の終了後，概ね4時を予定しているが，市長がここに参り，皆様にあいさつをさせていただき予定である。その際，今日提示させていただいている報告書（案）について，同意が得られれば，これを座長から市長に渡させていただきことを考えているので，よろしく願います。本日もどうぞよろしく願います。

- 議事

議題（1）報告書（案）について

碓井座長

- 皆さんこんにちは。本日がいよいよ最終回である。どうぞよろしく願います。
- 本日の議題は，報告書（案）についてである。前回の素案に対して，委員の皆様からいただいた意見に関して，私と事務局で本日の報告書（案）にまとめさせていただいた。まず，どのような理由で案をまとめたかについて，事務局から説明いただく。本日，報

告書を完成できるよう、委員の皆様の協力をお願いします。

- それでははじめに、報告書(案)について、全体を通して、素案からの修正箇所など、事務局から説明をお願いします。

三浦部次長

(【資料1 新潟市区のあり方検討委員会 報告書(案)】説明)

(【資料1-1 報告書 資料編】についても言及)

碓井座長

- 前回の素案から、どういう修正をしたかを中心に説明をいただいた。基本的視点③にかかる統一性、一体性の文言の部分、各論点における検討の視点、検討課題の関係。それから今後についての部分。さらには、ひとつひとつの意見の記載の仕方など、素案からの修正が施されている。内容的には、基本的に委員の皆様の意見も踏まえた形になっていると思うが、気づいた点などがあれば、発言いただきたい。
- 便宜的に確認をさせていただく。前回の素案を持っている方、先ほども説明のあったところだが、18ページの「区のあり方の検討における論点整理」の最初の部分、論点「総合区制度への対応」になっている。そのページは、今回の報告書(案)の18ページでも同じになっている。めくっていくと、先ほど説明のあったとおりだが、20ページのところの「委員意見」となっているところが、先ほど説明のあった理由で、「委員の認識」という表示に変えられている。
- ii) 検討の方向性を見出しの付け方が、今回は「検討の視点」になっている。その前で挙げた区のあり方の検討における基本的視点を踏まえて、総合区制度への対応の場合、どのような検討の視点が出てくるかをまとめたものになっている。その枠の表現の中に、同じものが引き続いている箇所もあるが、例えば③では、前回の素案では地域特性の尊重と全市統一性の確保となっていたが、先ほどの説明のように「市の一体性」に変えている。
- 前回は21ページで検討の視点となっていたが、今回は21ページのiii)で「検討課題」と掲げている。それから、前回の21ページで、「検討の方向性にかかる委員意見の概要」という箇所があったが、これは後の方で出てくるものを抽出してまとめて書くという趣旨で、そのようなやり方はしないことにして、22ページの委員意見として掲げている。
- 例として申し上げたが、このような変え方をしたという基本的な方向を踏まえて、皆様から理解いただければと思う。私自身としては、大変わかりやすくなったのではないかと思っているが、いかがか。
- 最後の説明にあったが、私の意見として事務局にお願いして、45ページから委員会概要として、検討を依頼された私どもの委員会がどのような根拠に基づいて、どのようなメンバーで、どれだけ開いたかをつけた方がいいと思ったがどうか。
- 伊藤委員、前回の指摘、チグハグになっていたところを、順序を変えてわかりやすくなったと思うがよろしいか。
- 修正箇所がもしあれば、意見をいただきたいと思うが、いかがか。よろしいか。

- それでは先を急ぐようだが、本日、第5回で、この報告書が無事まとまったことになった。毎回、大変熱心な意見をいただき報告書をまとめることができた。座長として、委員の皆様から心から感謝を申し上げたい。報告書自体はこの後、篠田市長が見えられるので、完成した報告書を私から市長へ渡したいと思う。
- この報告書の1ページ目に「はじめに」と書いてあり、その中で、持続可能な都市経営という表現が使われているが、これは新潟市民の立場からみると、末永く安心して生活できる新潟市をどうしたらいいかという課題を迫及することに尽きるのではないかなと思う。こういう重要な報告書をまとめることができたことは、大変光栄なことだと思う。5回に渡る委員会での熱心な議論、大変お疲れ様でした。
- 報告書についてはこのようにまとめたことを踏まえて、もしさらに何か感想などあればお願いしたいと思う。

渡邊（忠）委員

- 報告書の今後に向けて、44 ページに記載されているが、自治協議会で時間を十分かけて検討すべきとあって私も4年間自治協議会の委員をやったことだが、自治協議会は、いろいろな団体、コミュニティ協議会などから出て、そこで報告したり、そこで決めたりするのは非常に伝わる感じがするが、自治協議会の委員は、行政の報告もなんでもよくわかるが、その下の出身団体、例えばコミュニティ協議会の中で十分に論議されるかということ、なかなか時間がない。あまりにも自治協議会に期待してしまうと、ここに書かれているように老若男女すべての市民の意見ではなくて、ともすれば、自治協議会だけで決まることを懸念しており、もっと市民のレベルまで掘り下げられるような意見が出てくるようにしたらいいのではないかなと思った。

小田委員

- 関連だが、今後、区長は市長部局の中でさらに検討を加えられることは間違いないし、議員は議会の中での専門の委員会ですらに検討を進められることと思う。今、渡邊（忠）委員が発言されたように、市民のレベルでの議論をどのような形で深化させていくか、方法論が非常に難しいと思う。
- すでに各々の区においては、この委員の方々には区の自治協議会に「きみはこの委員会に所属しているのだから、経過なり概要を説明してくれないか」という話があったかもしれない。今後、成案として市長に渡した場合、私たち委員の立ち位置も、極めて複雑な様相を呈してこないやもしれないと不安になっている。
- 今回の修正案の中で、検討の視点と検討課題は切り口が異なり、階層構造にはないと断じた。もちろんこれはこの論点で間違いはないと思うが、市民の観点からみれば、複雑な階層構造であることは間違いないわけである。その中で様々な市政が展開され、それをどう受け取るかの力関係が生じているわけであるが、私たちもどのようなスタンスで、何か要請があった場合、あるいはこの会議概要を説明していいかということについて、若干の不安がある。お知恵があれば、聞かせていただきたい。

碓井座長

- 小田委員からの問題にお知恵があればお願いします。他の委員の皆様もどうぞ自由に。

真嶋委員

- この委員会に参加して、最初はあまり公にしないでほしいという話だった気がするが、報道も入っているから秘密の会ではなかったと思う。
- その後、自治協議会と別の会に呼ばれて、あれはどうなっているのかと聞かれた。まだ1回しか開催していないからそんなに決められないし、論点は4項目あってという程度の話で収めていた。
- 今後、自治協議会まで下がってくるのではないかと思うが、どの程度まで考えているか。そっくり下げていくのか、もう少しやんわりとしたものでやっていくのか。

碓井座長

- これは受け取った市長がどうするかによると思うが。市長から聞いた方がいいか。

高橋部長

- この会がもたれていることは、公知の事実であり、市長も様々な場面で似たようなお尋ねをいただいている。今回の報告書の性格として、ひとつの答えを導き出したということではなく、元より、区のあり方を検討するには非常に複雑な、様々な要素が関わっていることが、今回のこの報告書の中で明らかになったということである。
- 一方、例えば検討の選択肢も様々示されたと感じており、市長がいろいろな場面で申し上げているのは、受け取った段階で、まずは執行部として、この中の様々な要素、でき得る限り分類をし、執行部として比較的早く検討できるものもあれば、今ほど委員の皆様から話があったように、市内津々浦々、市民老若男女の方々から承知していただいた上で検討しなければいけないもの。このような時間のタイミングについても、できる限り私どもで整理をして、その上で市民の皆様、また議会に示していきたいと市長は発言している。

如澤委員

- 3カ月くらい前だったか、20人くらいの、ある団体に区のあり方検討委員会の状況を説明してほしいとお願いされた。概略を説明したが、その中でいろいろな質問があり、総合区制度についてどう思うかといわれた。区のあり方でも今8区あるが、何区がいいのかという話が出る。
- 私は委員の立場としては、こういう意見もある、こういう意見もあると、反対とか賛成とかではなく、ある程度公平、公正に話をしていくことがいいと思い、具体的なことは、相槌を打たないような姿勢が必要ではないかと思っている。

大橋委員

- 私は経済同友会の、経済団体の代表としてここに参加している。論理を展開していく

ときに、私どもは演繹的な大前提、そういう理論展開をしている。一方で、自治協議会や現実の住民の自治活動を経験されて、リードしてこられた委員の方と思考方法が違う。

- いい悪いの話ではなく、こちらが演繹法で考えると、自治協議会の方は帰納法で、実践に基づいた経験の事例を挙げてこられて論理展開。非常に体験事実が豊富であったり、その中から結論に近いものを導き出してくる。本来、個々の住民にとって自治とはどうあるべきかという視点からの観察方法だと思う。非常に説得力、あるいは納得感がある。私どもは、大前提があるという考え方、新潟市の将来が確実に成り立つ、これが大前提。そこから論理的な思考で展開せざるを得ないと、意見が衝突せざるをえないという誤解がある。
- 人口減少が進み、かつ超高齢化社会が進行していることは皆さん認めていると思う。そこから次の税収の減収だったり、あるいは財政の悪化へのリスクといったものがある。将来に渡って持続可能な自治体運営がなされるためには、小さくて効率的な、かつ透明度の高い組織運営が確立されていなければならない。
- こういう切り口で私たちはものをいってきているので、経済原則とか効率性の話ばかりしていると、私の資料を見せた方にアドバイスをいただいたため、釈明と、両論併記というか、各論列記が私ども委員に課せられたミッションだということを再確認して、私も大変勉強になったし、今後もまたぜひ、市政を考えるときに住民自治という原点を教えられたことに感謝して、感想とさせていただきたい。

碓井座長

- 報告書（案）を了承していただいた後に、なかなか奥深い発言が続いているように思うが。もう一人くらい発言あるか。

下坂委員

- 今までの委員の方々の意見を聞いていると、もっとも話で、同感の点が多い。まず1ページの座長の巻頭にあるように、結論を求めないところから始まったわけなので、これは致し方ないひとつの手法と思っている。
- 39ページと42ページに住民の意見を尊重した、最終的には区割というところにあるが、今までの8区はやむを得ない大事な数で、時期尚早でないかという意見もあった。また41ページには、区の規模や数にかかる方向性として、現行体制の維持と、逆に現行体制の見直しという、相反する意見が出ている。
- いずれにしても、総合区あるいはガバナンスなど、いろいろな関係については、それぞれの制度の充実と相まって図られていくと思うが、一番大きな区の数あるいは人口、区の設置等については、これから市の執行部と市議会と、あるいは住民を巻き込んだいろいろな意見の中で、大きな論点として私どもは問題を提起せざるを得なかったと結論付けていただき、結論は出なかったとしていただければ幸いと思っている。

碓井座長

- 予定の時間となるので、感想を伺うのもこれまでとさせていただきたい。

- 最後に、5回に渡り不束な私に協力いただき、誠にありがとうございました。この後、市長に報告書を手渡すことができるのも、皆様の協力のおかげである。感謝申し上げます。どうもありがとうございました。

○ 閉会（部長あいさつ）

高橋部長

- 皆様改めて、5回に渡り大変熱心に議論いただきありがとうございました。この区のあり方検討委員会、今ほどもあったように、様々な社会経済情勢を踏まえて、将来に渡っても、新潟市民が安心な暮らしを送ることができるようにという取組である。
- 実は様々な要素があり、例えば行政改革を受けて、行政サービスをどうするかなど、いろいろなことがあると思うが、こと、区のあり方に関して申し上げれば、今回5回の議論で明らかのように、大変複雑で多様な意見がある。
- 一方、その区のあり方についても、例外なく市民の暮らしに直結するものなので、臆することなく検討を進めていくべきと、皆様から今回意見を出していただいた。幅のある意見だが、これが今後の区のあり方に関する様々な方々の検討の土台となる。今日が最後だが、まさにスタートを切るための委員会であると認識している。
- この間、本当にありがとうございました。特に碓井座長におかれては、議事運営について大変ありがとうございました。改めて皆様に感謝を申し上げて、甚だ簡単ではあるが、あいさつとさせていただきます。ありがとうございました。